

# 伊藤忠エネクス株式会社

(東証一部上場 8133)

## 2022年3月期第2四半期 決算補足説明資料

2021年10月29日

## ご注意

資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

- 本資料の数値について、特に断りのない場合はすべて国際会計基準（IFRS）ベースで記載しています。
- 本資料では、下記の通り表記を置き換えております。  
「営業活動に係る利益」 ⇒ 「営業利益」  
「当社株主に帰属する四半期純利益」 ⇒ 「四半期純利益」

# 業績ハイライト

## 2022年3月期第2四半期 決算概要

- 「**第2四半期純利益**」は、前年比△11.3%・7億円減少の**55億円**。  
前年同期の原油価格の変動を捉えたオペレーションによる一過性収益の反動等により減益となったが、感染症による影響は縮小傾向にあり、売上・販売面は回復基調で特殊要因を除けば、総じて各事業は堅調に推移。
- 「**売上総利益に対する販管費率**」は、営業活動では一部回復はあったものの、販管費率を引続きコントロール(78.8%)。

売上収益 **3,981**億円 (前年比+24.6%)





営業利益 **91**億円 (前年比▲10.1%)

売上総利益 **417**億円 (前年比▲1.1%)

四半期純利益 **55**億円 (前年比▲11.3%)

# 新型コロナウイルス感染症の影響について

## 業績への影響（前年同期比）

 <p>石油</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ リモート勤務や外出自粛の影響は残るものの、ガソリン・軽油の販売量は<b>増加</b>。</li> </ul>
 <p>ガス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 店舗・工場等の稼働率は回復傾向にあり、LPガス(業務用・工業用)の販売量は<b>増加</b>。</li> <li>□ 巣ごもり需要は落ち着きつつあるが、家庭用LPガスの販売量は前年同期並み。</li> <li>□ 産業用ガスの販売量は前年同期並み。</li> </ul>
 <p>電力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 店舗・工場等の稼働率は回復傾向にあり、高圧電力の販売量は<b>増加</b>。</li> <li>□ 巣ごもり需要は落ち着きつつあるが、契約件数の増加により家庭用を中心とした低圧電力の販売量は<b>増加</b>。</li> </ul>
 <p>車販売</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 新型車等の販売回復により、販売台数は<b>増加</b>。</li> </ul>

### 各種販売数量(全社実績)

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ガソリン <b>1,277</b>千KL (前期比 +6.9%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ LPガス <b>204</b>千トン (前期比 △ 1.5%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電力小売 <b>1,195</b>GWh (前期比 +9.1%取次数量含む)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 軽油 <b>1,604</b>千KL (前期比 +8.1%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 産業用ガス <b>33</b>千トン (前期比 +1.0%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新車 <b>1.2</b>千台 (前期比 +11.1%)</li> </ul>

# 目次

---

- ◇ 2022年3月期第2四半期決算概要
  - ① 全社概要
  - ② セグメント別概要
  
- ◇ Appendix

# 2022年3月期第2四半期決算概要

## ① 全社概要

# 2022年3月期第2四半期 決算/サマリー

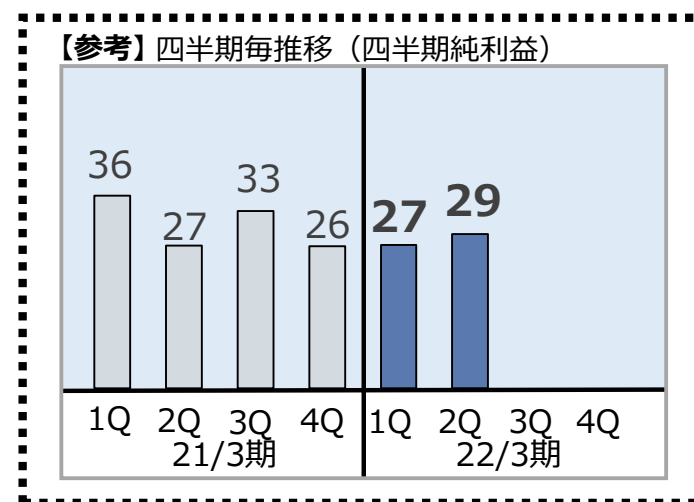
## 産業ビジネス事業での一過性収益の反動等を除けば総じて各事業は堅調に推移

(億円)	21年3月期 2Q累計実績	22年3月期 2Q累計実績	増減	22年3月期 通期計画	進捗率
売上収益	3,195	<b>3,981</b>	+ 786	<b>8,000</b>	<b>50%</b>
売上総利益	421	<b>417</b>	△ 5		
販管費	▲319	<b>▲328</b>	△ 9		
営業利益	102	<b>91</b>	△ 10	<b>205</b>	<b>45%</b>
持分法による投資損益	4	<b>10</b>	+ 6		
四半期純利益	62	<b>55</b>	△ 7	<b>125</b>	<b>44%</b>
売上総利益に対する販管費率	75.8%	<b>78.8%</b>	+ 3.0pt		
中間配当 (円/株)	22	<b>23</b>	+ 1		

□ 「**第2四半期純利益**」は、前年比△ 11.3%・7億円減少の**55億円**。

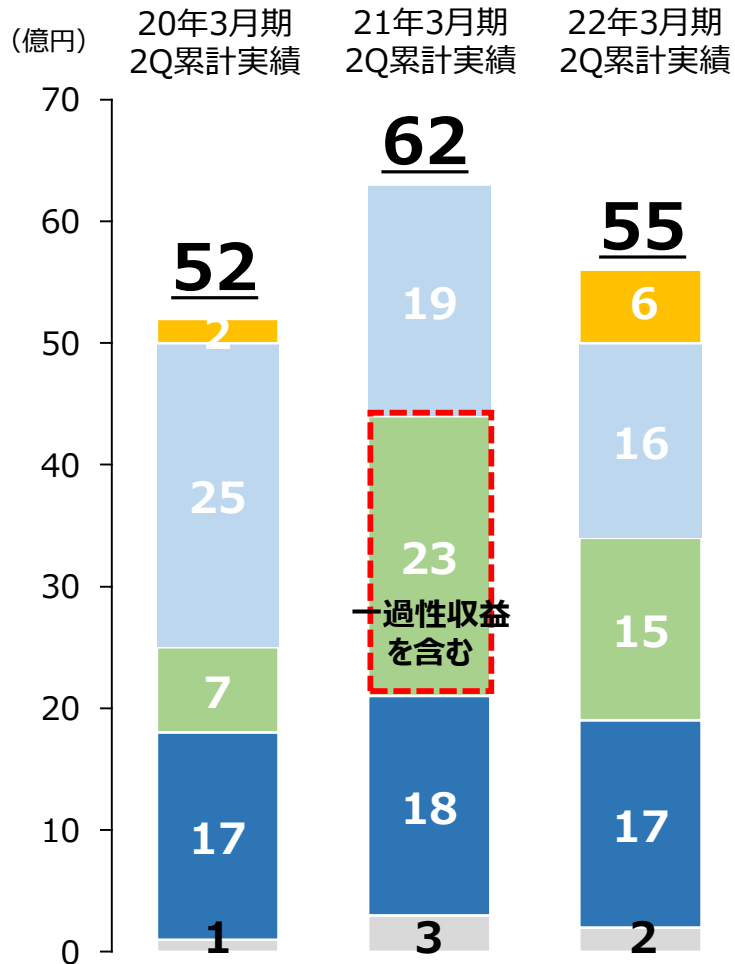
前年同期の原油価格の変動を捉えたオペレーションによる一過性収益の反動等により減益となったが、感染症による影響は前年同期に比べ縮小し、販売数量も回復基調で各事業は堅調に推移。

□ 「**売上総利益に対する販管費率**」は、**78.8%**と、前年差+3.0%となり、営業活動一部回復により上昇。



# セグメント別 四半期純利益

## 数量回復傾向も、産業ビジネス事業での一過性収益の反動により減益



### 主たる増減要因

#### ■ ホームライフ (前期比：+5億円、計画進捗率：22%)

直売顧客軒数は、前期末より微増の約553千軒。LPガス販売数量は、業務用や工業用の需要は回復傾向にあるものの卸売やオートガスの減少により全体としては前年同期並み。損益面は、経済活動再開に伴う、産業ガス関連事業や海外事業の復調、LPガスの輸入価格の上昇に伴う在庫影響等により増益。

#### ■ カーライフ (前期比：△3億円、計画進捗率：41%)

給油所数は、前期末より15カ所減少し、1,672カ所。

石油製品の販売数量は、灯油は前年同期を下回ったものの、ガソリンや軽油は経済活動の再開等により需要が増大し、全体としても前年同期を上回る。新車販売台数は、新型車等の販売回復により、前年同期を上回る。損益面は、自動車ディーラー事業の回復が貢献するも、石油事業の小売利幅縮小の影響が大きく、全体としては減益。

#### ■ 産業ビジネス (前期比：△8億円、計画進捗率：58%)

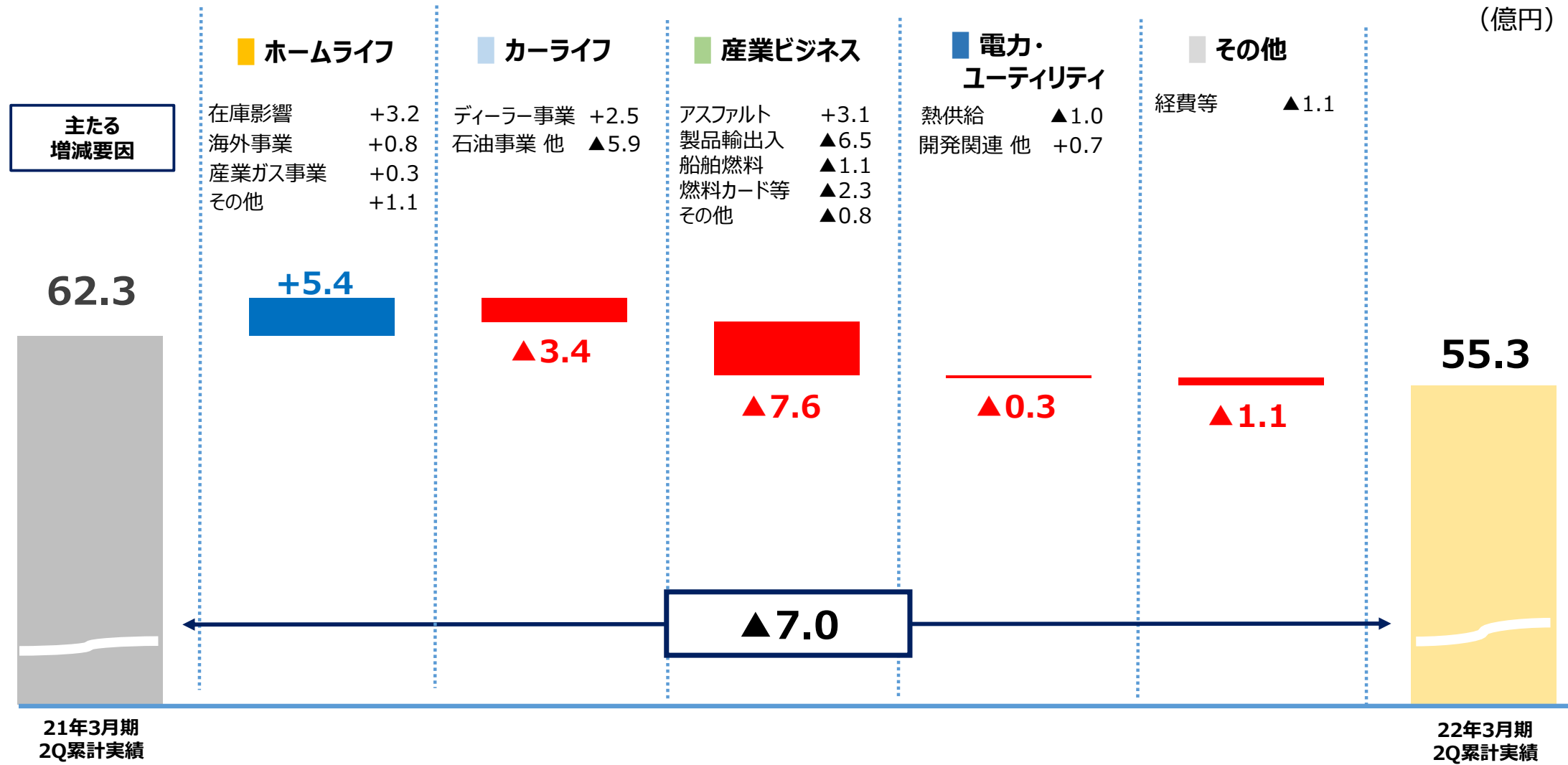
販売数量については、アスファルト事業は採算販売を徹底し、前年同期を下回る。船舶燃料販売事業は、内航船向けは既存顧客の新規航路向け供給を獲得したものの、外航船向け供給が減少し、前年同期を下回る。また法人向け自動車用燃料給油カード販売は、新規顧客開拓が奏功し、前年同期を上回る。損益面は、アスファルト事業において増益したものの、前年度の原油価格の変動を捉えたオペレーションおよび金融収益による一過性収益の反動が大きく、減益。

#### ■ 電力・ユーティリティ (前期比：△0億円、計画進捗率：45%)

小売電力のうち、高圧の販売数量は大型案件の獲得により前年同期を上回り、低圧の販売数量も家庭向けを中心とした契約件数の増加により前年同期を上回る。熱供給事業の需要量は、今夏の平均気温が前年を大きく下回ったことにより、前年同期を下回る。損益面は、熱需要の減少及び発電所の定期点検による稼働の低下があったものの、持分法会社からの取込利益の増加等により前年同期並み。



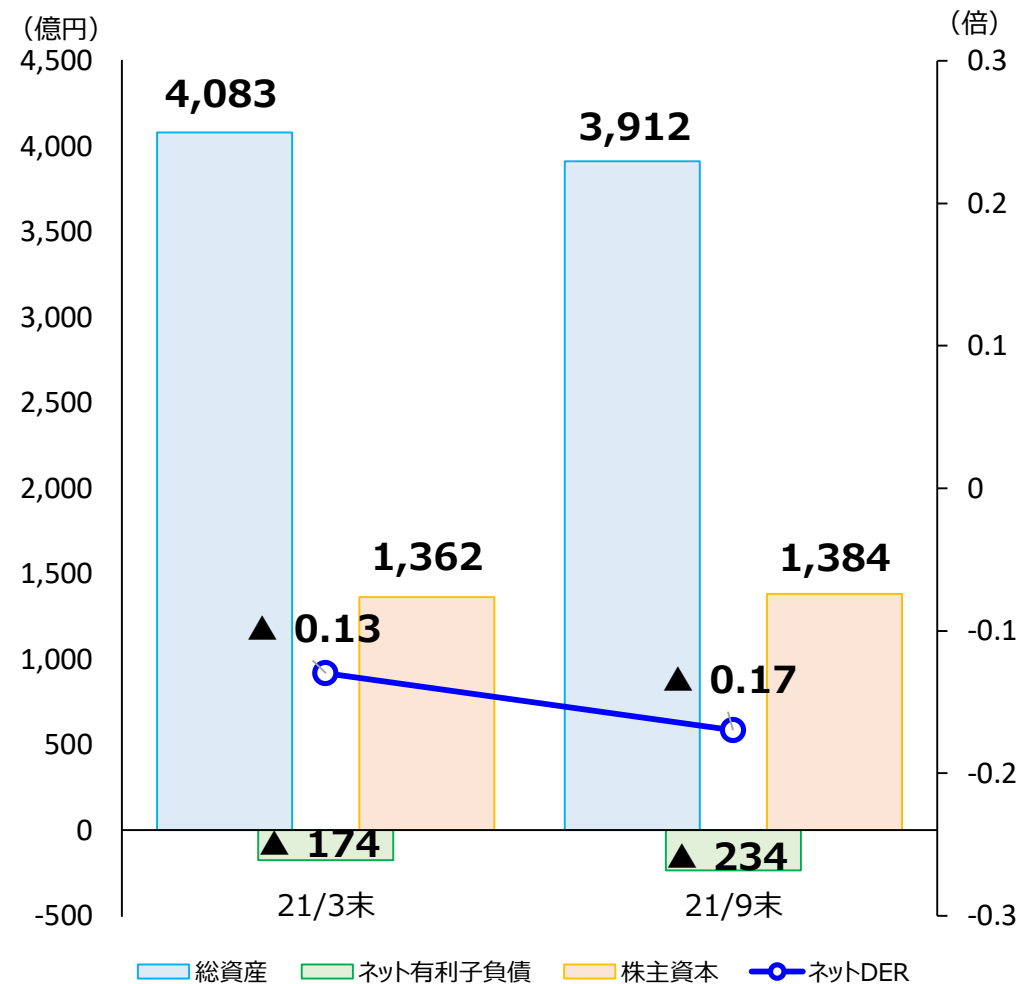
# セグメント別 第2四半期純利益分析



# 季節要因等の影響で営業債権債務が減少

- **総資産** : 営業債権債務の減少により、前期末比172億円減少し、**3,912億円**。
- **株主資本** : 当期純利益の積上げ等により22億円増加し**1,384億円**。
- **ネットDER** : 現金及び預金の増加によりネットDERがマイナス値。

(億円)	21年3月末 実績	21年9月末 実績	増減
総資産	4,083	<b>3,912</b>	△ <b>172</b>
ネット有利子負債	▲174	▲ <b>234</b>	△ <b>60</b>
株主資本	1,362	<b>1,384</b>	+ <b>22</b>
株主資本比率	33.4%	<b>35.4%</b>	+ <b>2.0pt</b>
ネットDER	▲0.13倍	▲ <b>0.17倍</b>	△ <b>0.04倍</b>



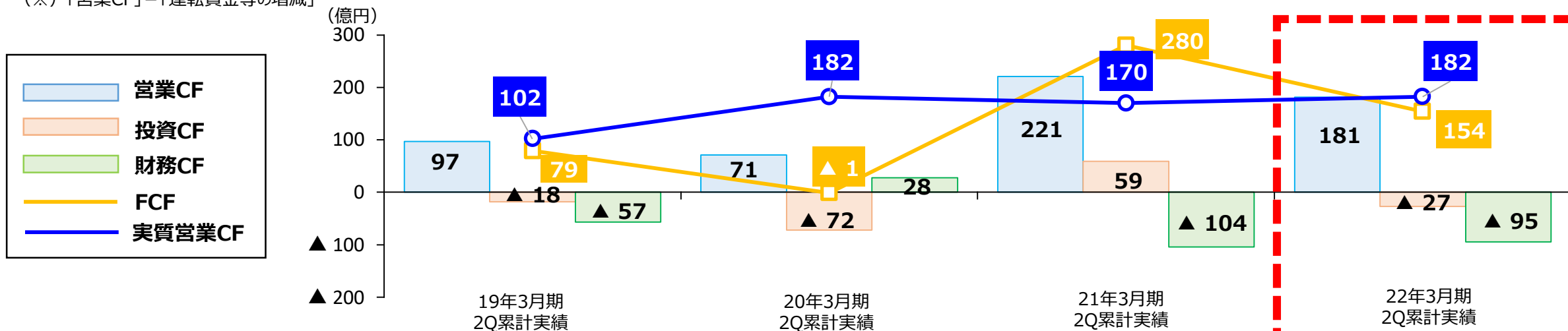
## 特殊要因を除けば、引き続き潤沢な営業CFを創出

(億円)	19年3月期 2Q累計実績	20年3月期 2Q累計実績	21年3月期 2Q累計実績	22年3月期 2Q累計実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	97	71	221	<b>181</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲18	▲72	59	▲27
(フリー・キャッシュ・フロー)	79	▲1	280	<b>154</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲57	28	▲104	▲95

### 実質的なキャッシュ・フロー

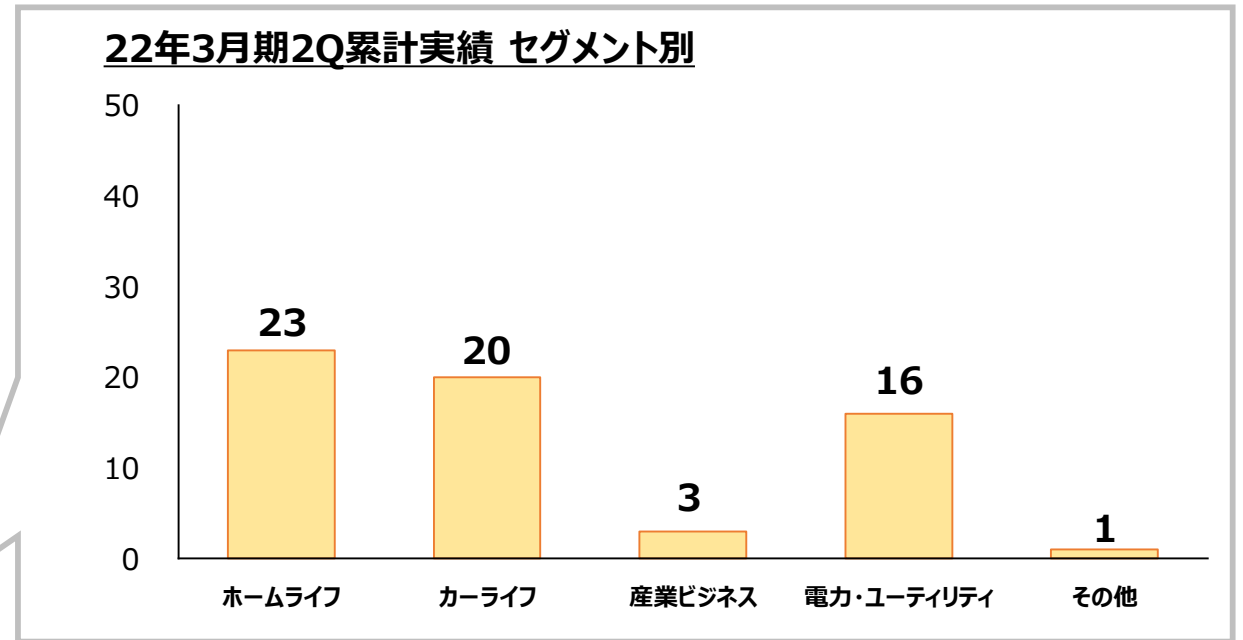
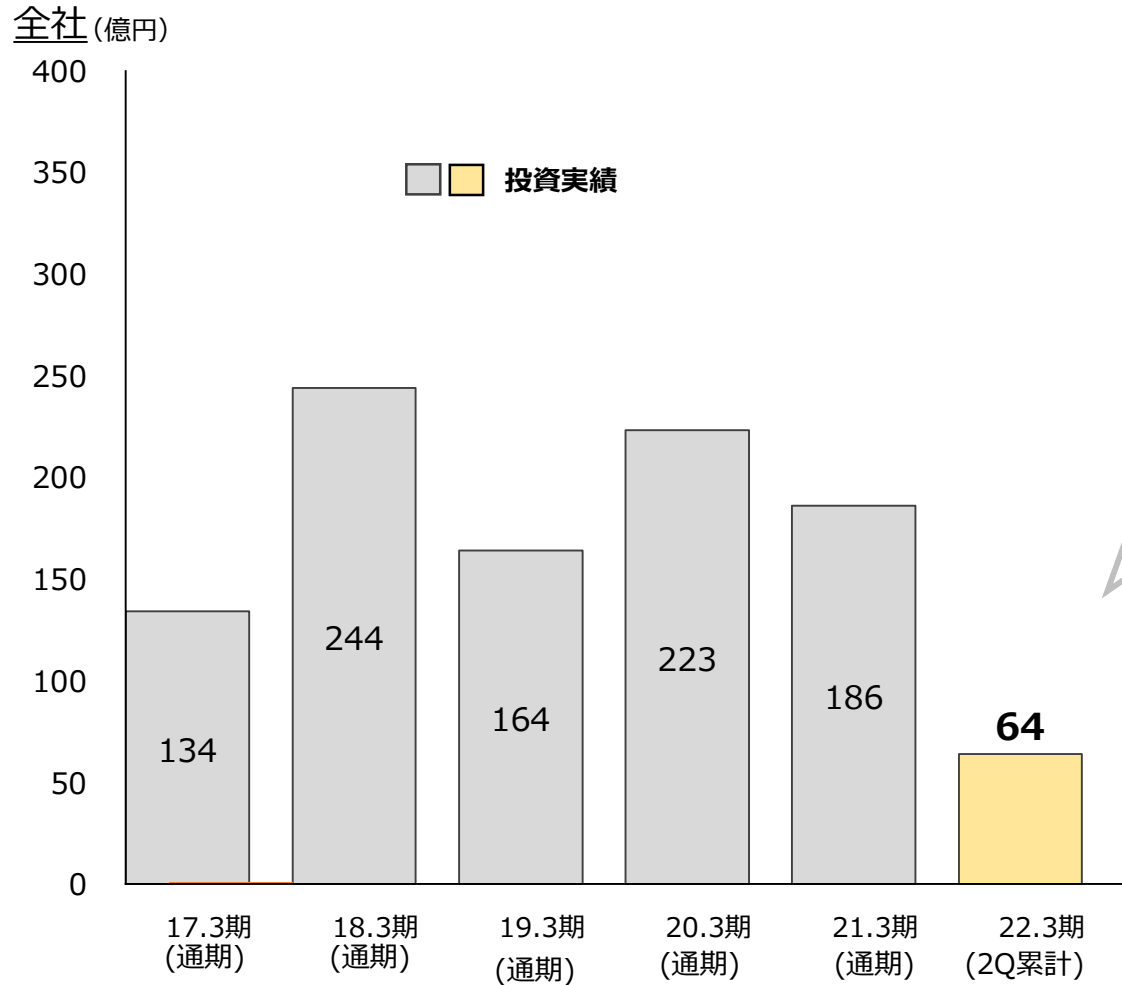
実質営業キャッシュ・フロー (※)	102	182	170	<b>182</b>
-------------------	-----	-----	-----	------------

(※) 「営業CF」-「運転資金等の増減」



# 投資の推移

## 設備の維持・保全投資に着手、成長投資は第3Q以降に予定

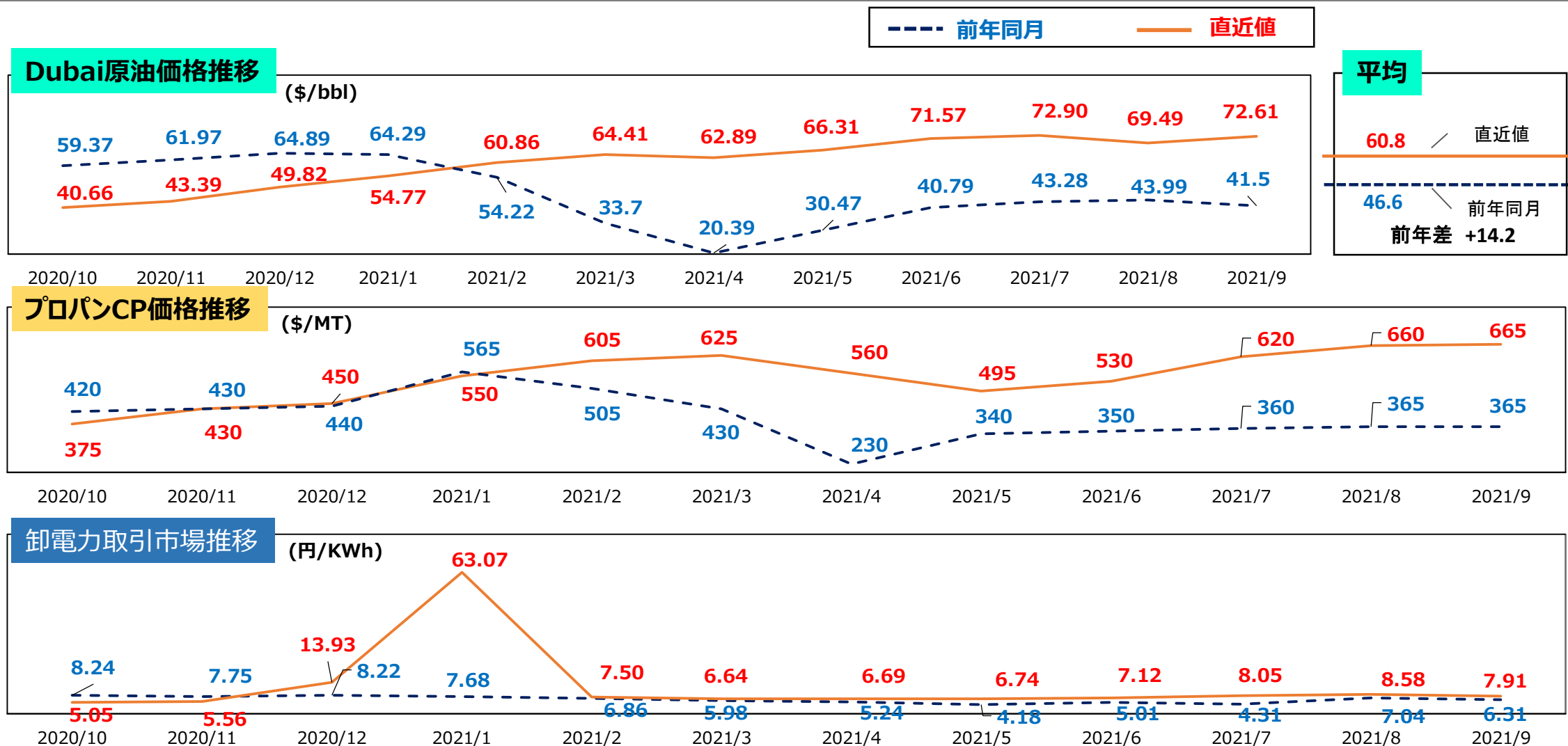


### 主な投資実績

■ ホームライフ	設備投資、営業権買収、等
■ カーライフ	設備投資、等
■ 産業ビジネス	設備投資、等
■ 電力・ユーティリティ	設備投資、開発関連、等
■ その他	設備投資、等

# (参考) 市場動向

## 原油価格は前年同期初に底値を付け、継続して上昇傾向



# 2022年3月期第2四半期決算概要

## ② セグメント別概要

# セグメント別業績

(億円)		21年3月期 2Q累計実績	22年3月期 2Q累計実績	増減	増減率 %	22年3月期 通期計画	進捗率
■ 全社	売上収益	3,195	3,981	+786	+24.6	8,000	50%
	営業利益	102	91	△10	△10.1	205	45%
	当期純利益	62	55	△7	△11.3	125	44%
■ ホームライフ	売上収益	302	347	+45	+14.8	—	—
	営業利益	0	4	+3	↑	—	—
	当期純利益	0	6	+5	↑	25	22%
■ カーライフ	売上収益	1,835	2,362	+528	+28.8	—	—
	営業利益	34	31	△2	△6.9	—	—
	当期純利益	19	16	△3	17.8	38	41%
■ 産業ビジネス	売上収益	685	904	+219	+31.9	—	—
	営業利益	28	22	△6	△22.9	—	—
	当期純利益	23	15	△8	△33.6	26	58%
■ 電力・ ユーティリティ	売上収益	374	368	△5	△1.4	—	—
	営業利益	34	31	△3	△9.4	—	—
	当期純利益	17	17	△0	△1.4	39	45%

# ホームライフ部門 LPガス輸入価格の上昇に伴う在庫影響等により増益

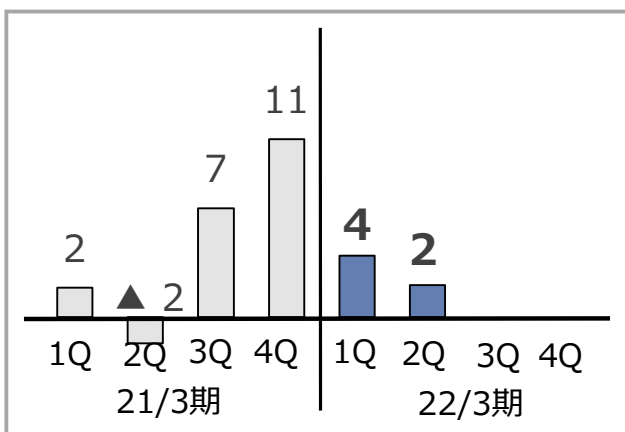
(億円)	21年3月期 2Q累計実績	22年3月期 2Q累計実績	増減
売上総利益	92	<b>96</b>	+4
販管費	▲91	▲ <b>93</b>	△2
営業利益	0	<b>4</b>	+3
持分法損益	2	<b>7</b>	+5
<b>四半期純利益</b>	0	<b>6</b>	+5

**主たる増減要因**

直売顧客軒数は、前期末より微増の約553千軒。LPガス販売数量は、業務用や工業用の需要は回復傾向にあるものの卸売やオートガスの減少により全体としては前年同期並み。損益面は、経済活動再開に伴う、産業ガス関連事業や海外事業の復調、LPガスの輸入価格の上昇に伴う在庫影響等により増益。

22年3月期 計画	進捗率
25	22%

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益	21年3月期 2Q累計実績	22年3月期 2Q累計実績	増減
伊藤忠エネクス ホームライフ西日本	3	2	△1
エコア（当社持分51%）	2	3	+1
エネアーク （当社持分50%）	2	3	+0

顧客軒数(千軒)	21年 3月末	21年 9月末	増減
LPガス直売軒数	552	553	+1
電力小売軒数	109	114	+5

販売数量	21年3月期 2Q累計実績	22年3月期 2Q累計実績	増減比
LPガス(千トン)	201	199	△1%
産業用ガス(千トン)	33	33	+1%



# カーライフ部門

## 自動車ディーラー事業は回復するも石油事業の小売利幅縮小により減益

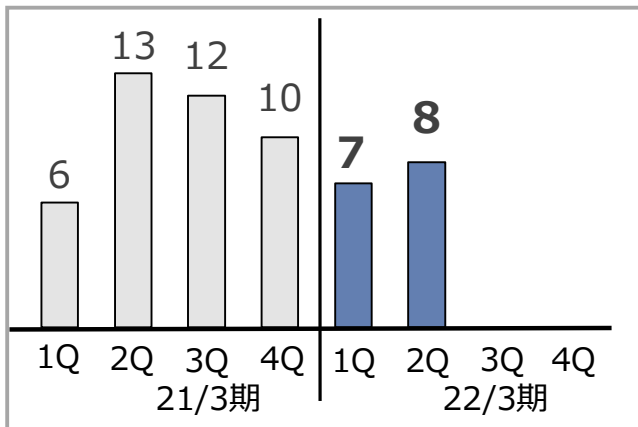
(億円)	21年3月期 2Q累計実績	22年3月期 2Q累計実績	増減
売上総利益	223	<b>221</b>	△2
販管費	▲189	<b>▲189</b>	△0
営業利益	34	<b>31</b>	△2
持分法損益	0	<b>1</b>	+0
<b>四半期純利益</b>	19	<b>16</b>	△3

**主たる増減要因**

給油所数は、前期末より15カ所減少し、1,672カ所。石油製品の販売数量は、灯油は前年同期を下回ったものの、ガソリンや軽油は経済活動の再開等により需要が増大し、全体としても前年同期を上回る。新車販売台数は、新型車等の販売回復により、前年同期を上回る。損益面は、自動車ディーラー事業の回復が貢献するも、石油事業の小売利幅縮小の影響が大きく、全体としては減益。

22年3月期 計画	進捗率
38	41%

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益

	21年3月期 2Q累計実績	22年3月期 2Q累計実績	増減
エネクスフリート	13	6	△6
大阪カーライフグループ (当社持分51.95%)	2	4	+2

販売数量

	21年3月期 2Q累計実績	22年3月期 2Q累計実績	増減比
ガソリン(千KL)	830	848	+2%
灯油(千KL)	81	63	△22%
軽油(千KL)	963	1,006	+4%
新車(千台)	11	12	+11%
中古車(千台)	10	11	+5%

# 産業ビジネス部門

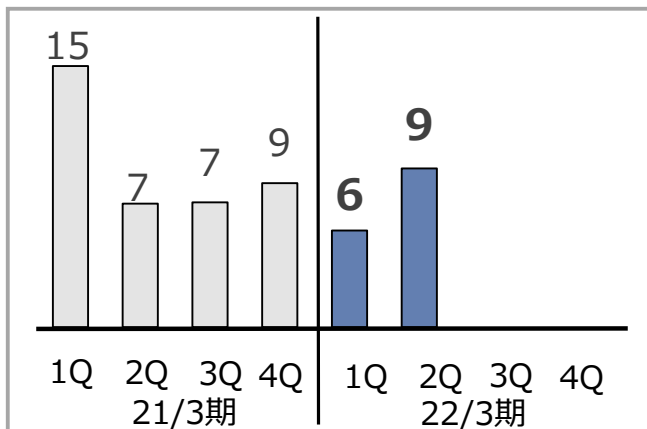
## 一過性収益等の反動で前期比減益だが、アスファルト事業改善

(億円)	21年3月期 2Q累計実績	22年3月期 2Q累計実績	増減
売上総利益	48	<b>46</b>	△2
販管費	▲20	▲ <b>23</b>	△3
営業利益	28	<b>22</b>	△6
持分法損益	0	▲ <b>0</b>	△0
<b>四半期純利益</b>	23	<b>15</b>	△8

主たる増減要因
販売数量については、アスファルト事業は採算販売を徹底し、前年同期を下回る。船舶燃料販売事業は、内航船向けは既存顧客の新規航路向け供給を獲得したものの、外航船向け供給が減少し、前年同期を下回る。また法人向け自動車用燃料給油カード販売は、新規顧客開拓が奏功し、前年同期を上回る。損益面は、アスファルト事業において増益したものの、前年度の原油価格の変動を捉えたオペレーションおよび金融収益による一過性収益の反動が大きく、減益。

22年3月期 計画	進捗率
26	58%

四半期毎推移（当期純利益）



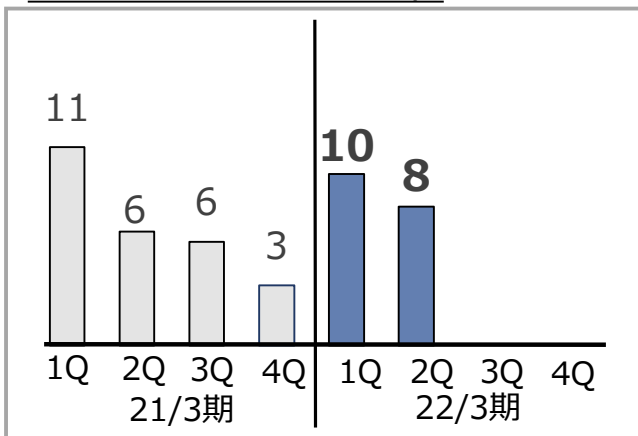
販売数量	21年3月期 2Q累計実績	22年3月期 2Q累計実績	増減比
ガソリン(千KL)	355	421	+19%
灯油(千KL)	122	125	+3%
軽油(千KL)	516	595	+15%
重油(千KL)	1,063	812	△24%
アスファルト(千t)	139	126	△10%

# ■ 電力・ユーティリティ部門

## 熱供給の需要減等があるも、持分法利益増等により前年同期並み

(億円)	21年3月期 2Q累計実績	22年3月期 2Q累計実績	増減	主たる増減要因	22年3月期 計画	進捗率
売上総利益	59	<b>54</b>	△5	小売電力のうち、高圧の販売数量は大型案件の獲得により前年同期を上回り、低圧の販売数量も家庭向けを中心とした契約件数の増加により前年同期を上回る。熱供給事業の需要量は、今夏の平均気温が前年を大きく下回ったことにより、前年同期を下回る。損益面は、熱需要の減少及び発電所の定期点検による稼働の低下があったものの、持分法会社からの取込利益の増加等により前年同期並み。	39	45%
販管費	▲24	▲ <b>26</b>	△1			
営業利益	34	<b>31</b>	△3			
持分法損益	2	<b>3</b>	+2			
<b>四半期純利益</b>	18	<b>17</b>	△0			

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益	21年3月期 2Q累計実績	22年3月期 2Q累計実績	増減
エネクス電力グループ	6	4	△1
エネクスライフサービス	2	1	△1
東京都市サービス (当社持分66.6%)	9	8	△1
王子・伊藤忠エネクス電力販売 (当社持分60.0%)	4	4	△0

販売数量	21年3月期 2Q累計実績	22年3月期 2Q累計実績	増減比	
電力小売(GWh)※	1,096	1,195	+9%	
内訳	高圧販売※	837	886	+6%
	低圧販売※	259	309	+20%
蒸気(千トン)	250	249	△0%	
熱量(TJ)	755	703	△7%	

※速報値ベースでの算出  
※電力小売については、取次数量を含む

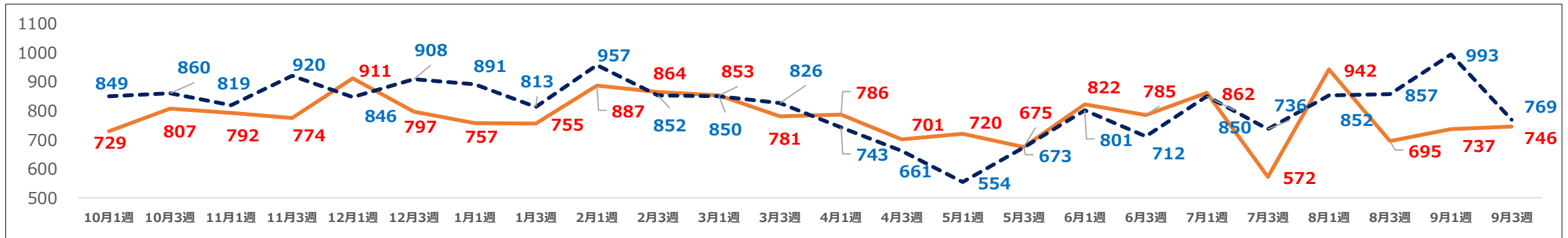
# Appendix

# Appendix

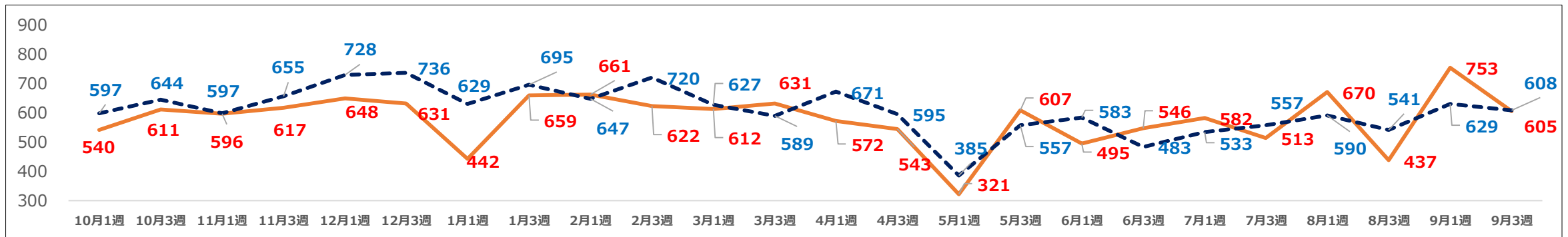
## 【参考】 ガソリン・軽油の国内出荷状況(全国統計)

ガソリン週間出荷量 単位(千KL)

--- 前年同月      — 直近値



軽油週間出荷量 単位(千KL)



※ 石油連盟の統計資料を基に作成

# Appendix

## 【参考】LPガス月別販売数量(9月～8月 全国統計)

単位(千 t)

	9月			10月			11月			12月			1月			2月		
	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減
家庭・業務用	438	401	△8%	514	526	+2%	608	616	+1%	804	828	+3%	780	813	+4%	747	736	△1%
自動車用	47	35	△26%	47	36	△23%	46	33	△28%	51	37	△27%	45	29	△36%	42	27	△36%
合計	485	436	△10%	561	562	+0%	654	649	△1%	855	865	+1%	825	842	+2%	789	763	△3%

	3月			4月			5月			6月			7月			8月			合計		
	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	前年 年間	直近 年間	増減
家庭・業務用	749	764	+2%	646	616	△5%	513	522	+2%	454	494	+9%	451	458	+2%	412	405	△2%	7,116	7,179	+1%
自動車用	41	31	△24%	29	30	+3%	22	26	+18%	31	30	△3%	37	33	△11%	35	31	△11%	473	378	△20%
合計	790	795	+1%	675	646	△4%	535	548	+2%	485	524	+8%	488	491	+1%	447	436	△2%	7,589	7,557	△0%

※ 日本LPガス協会の統計資料を基に作成

# Appendix

## 【参考】新車／月別販売台数(普通車・小型車、軽自動車)(10月～9月 全国統計)

単位(千台)

	10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減
普通・小型車	165	221	+35%	206	219	+6%	195	211	+8%	193	208	+8%	233	227	△3%	322	329	+2%
軽自動車	95	118	+24%	110	118	+7%	90	105	+17%	108	116	+7%	129	135	+5%	163	181	+11%
合計	260	339	+30%	316	337	+7%	285	316	+11%	301	324	+8%	362	362	+0%	485	510	+5%

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			合計		
	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	前年 年間	直近 年間	増減
普通・小型車	145	183	+26%	124	166	+34%	182	198	+9%	207	213	+3%	169	176	+4%	252	170	△33%	2,394	2,520	+5%
軽自動車	75	106	+42%	51	96	+89%	102	99	△3%	123	97	△22%	101	88	△13%	138	87	△37%	1,285	1,345	+5%
合計	220	289	+32%	175	262	+50%	284	297	+4%	331	309	△6%	270	264	△2%	391	257	△34%	3,679	3,865	+5%

※ 日本自動車販売協会連合会 及び 全国軽自動車協会連合会の統計資料を基に作成

問い合わせ先

**IR室 担当：今泉、中村**  
**【TEL】03-4233-8025 【FAX】03-4533-0103**  
**【E-MAIL】enex\_irpr@itcenex.com**